

# 令和7年度 第1回開平小学校ラウンドテーブル 議事要旨

1 日 時 令和8年1月22日(木)19時00分~20時10分

2 場 所 中央区役所 7階会議室

3 出席者

・委員(50音順・敬称略)

大重開実会会長、清水はぐくみネット代表、帖地学校協議会会長、中村汎愛連合振興町会会長、松田子ども会会長、保岡PTA会長

・行政関係

(中央区役所)

松田区担当教育次長、小林区教育担当次長、覺野市民活動支援・教育担当課長、

(教育委員会)系川指導部次席指導主事、山下総務部施設整備課長代理

(学校園)岩本開平小学校長

・司会：関口市民活動支援・教育担当課長代理

4 傍聴者 なし

5 次 第

(1)はじめに

(2)区担当教育次長あいさつ

(3)委員の紹介および座長の選任について

(4)議題

(5)閉会

6 議事要旨

(1)はじめに(ラウンドテーブルについて)

司会より、当ラウンドテーブルの設置目的、会議主旨について次第に基づき説明した。

(2)区担当教育次長あいさつ

会議参加へのお礼、中央区の教育環境の現状、会議開催の趣旨について述べた。

(3)委員の紹介および座長の選任について

委員紹介の後、委員の互選により、座長に帖地氏、副座長に保岡氏を選任した。

(4)議題

**中央区内の市立学校の現状等について**

市民活動支援・教育担当課長代理より、開平小学校の各地域の児童数推計(5年間)、中央区内の市立学校の現状(学級数、児童生徒数、校地・運動場面積)、開平小学校の各地域の未就学児童数(0~5歳児)について、資料に基づき説明し、現状や課題等について意見交換

を行った。

### 【主な意見】

(ラウンドテーブルの位置づけ・進め方)

- ・ラウンドテーブルの目的、段階、何を決める場かを明確にしてほしい。
- ・開平小の課題と南エリアの課題とは性質が違いため、議論する範囲を整理すべきである。

(児童数増・施設キャパシティ)

- ・児童数急増への驚きと、運動場・校舎等のキャパシティ問題は長年の課題である。
- ・児童増の要因として高層マンション増(船場周辺等)の影響が大きい。

(新設校の制度設計)

- ・対象児童の範囲(登校エリア、開平小の在校生は対象か)を明確にしてほしい。
- ・開平の兄弟校か別地域の学校なのかの整理が必要(地域コミュニティ・学校支援に直結)。
- ・新設校に隣接する地域住民の意向を踏まえるべきである。
- ・南エリアの小中一貫校等の検討があるなら情報を共有してほしい。
- ・早期から学校像(教育内容・制服・校名・地域連携等)や現時点の設計案を示してほしい。

### その他

市民活動支援・教育担当課長代理より、その他、今後のスケジュールについて、資料に基づき説明した。

### 【次回会議に向け】

- ・本日の会議内容を中央区教育会議に報告する。
- ・新設校の設計案を次回会議で共有できるようにする。

(5) 閉会

次回会議：令和8年4月以降(学期に1回程度の開催)